

平和の鐘点鐘式 ～「鶴の舞う高鍋」から平和の鐘が鳴り響く～

高鍋高校には、広島市の平和記念公園にある「平和の梵鐘」と同じ鐘が事務室前に常設してあります。これは本校卒業生の永原友市さんが創立 70 周年の記念に寄贈してくださったものです。今年は戦後 70 年ということもあり、8 時 15 分には全校生徒で黙祷を捧げ、点鐘式後は、安田郁子さんを講師に迎え、体育館で「平和講演会」が実施されました。



▲点鐘式の様子



▲平和の梵鐘

『今、高校生に伝えたいこと』

平和講演会講師：安田 郁子さん(90)

高鍋町在住。大正 14 年 1 月 21 日に宮崎に生まれる。昭和 18 年桜蔭女子工学院卒業後、中嶋飛行機小泉製作所に入所。昭和 19 年、赤江海軍航空隊呉海軍施設部に配属され、この特攻基地から多くの命が旅立って行くのを見送った。著書に「モスグリーンの青春」「白きマフラー」などがある。



安田さんの言葉は、重く胸に響いた。「私は今から“話す”のではなく“告げ”ます。」「これからも日本は“平和”でなければならない。二度と過ちは起こしてはいけない。」強いメッセージだった。宮崎で実際にあった戦争の生々しい経験と状況を教えてくださった。「何も持っていないでも、心があればできることがある」という言葉は、過酷な状況を乗り越えた安田さんにしか伝えられない言葉だった。戦争は二度と起こしてはいけない。世界平和を祈る安田さんの気持ちが痛いくらいに伝わってきた。

▼生徒の感想より抜粋▼

- 講話を聞いて戦争の怖さや残酷さを知ることができた。
- 戦争は本当に恐ろしく、たくさんの物がなくなってしまう、いいことが一つもないということが分かった。
- 「人は何も持っていないでもできることはある」という言葉を大切に、自分にできることを精一杯考えて行動し、青春を大切に過ごしていきたい。
- 戦争の事を知る機会が映画やドラマでしかない中で、実際に戦争を体験された方の話を聞くことができて本当に良かった。
- 安田さんに「告げ」られたとおり、最後まであきらめず「平和への祈り」をささげていきたい。
- 平和を願い、今が平和なことに感謝して生きていきたい。

学友団活動

学友団活動とは高鍋高校生らが、地区別あるいは出身中学校別の集団(組織)を作り、積極的に行う、ボランティア活動のことで、第 1 回目の学友団活動は悪天候の中、7 月 21 日(火)に行われました。高校生としての自覚をもち、生徒集団としての自治意識を高めるとともに地域の文化や風土を見直し、郷土の一員としての誇りを持つきっかけをつくることを目的とした高鍋高校独自の取り組みです。今年度は 12 月にもう一度活動が予定されています。見かけたら声をかけてください。

高鍋高校生によるボランティア活動が行なわれました。



▲トイレ清掃の様子



▲都農駅の清掃の様子



宮崎県立
高鍋高等学校



〒884-0002
児湯郡高鍋町大字北高鍋 4262
TEL : 0983-23-0005
FAX : 0983-23-5096

第1回オープンスクールがありました！

第1回オープンスクールが7月31日(金)に行われました！

県内23の中学校から総勢312名（+保護者105名）の生徒が参加した高鍋高校のオープンスクールは、学校紹介、体験授業、中学校別説明会、探究科学コース説明会、部活動見学が行われました。学校紹介では、生徒会が中心となって高鍋高校の日常や魅力を紹介しました。体験授業の後に行われた中学校別説明会では、同中学出身の先輩方が後輩に直接アドバイスしたり、説明したりしました。中学生の感想文には、「先輩たちが輝いていた」「先輩たちが生き生きと生きている」など魅力ある生徒に関する感想が多く寄せられ、高鍋高校生の魅力が伝わるオープンスクールにすることができました。



▲学校紹介の様子



▲受付の様子



▲中学校別学校説明会の様子

県総合文化祭準備中！今年は高鍋で開催！

今年は、西都・児湯地区が中心となって、文化系部活動生による文化の祭典「県総合文化祭」を開催します。9月26日(土)から始まる県総合文化祭の、総合開会式のオープニングセレモニーで披露する秋月太鼓「新星」の合同練習のために、児湯るびなす支援学校に行ってきました。秋月太鼓「新星」は、児湯るびなす支援学校生(23名)と高鍋高校生(7名)による合同発表で、この日、高鍋高校生は初めて練習に参加しました。始めは、るびなすの生徒の息の合った太鼓の演奏に驚いていましたが、練習が終わる頃には生徒とも打ち解けて演奏にもなんとなくついていけるようになりました。秋月太鼓の団長を務める石田卓也代表の元気のよかけ声と、それに応える生徒の明るい笑顔と元気な声で充実した練習になりました。さっそく学校に帰り、体育館で自分たちの練習を始めました。これから約1ヶ月、しっかり練習して、本番を迎えたいです。



▲太鼓の練習風景

※高鍋高校ホームページに多数写真を掲載中!!!

学習会(2・3年生)

受験生(3年生)は「夏休み」が勝負です！

8月3日から8月6日(木)にかけて学習会が行われました。自分に合った講座を受講したり、自学自習に励んだり、自分なりに勉強をしました。

「時間のあるこの夏休みの間に、自分に合った勉強のリズムを見つけて学力を伸ばしてほしい」これが、先生たちの学習会への思いです。自分に合った勉強法を見つけ、限りある時間を大切に過ごしてほしいです。

鳴海ヶ丘祭 PTAバザー開催!!

日時：9月5日(土) 10:40~12:40

場所：高鍋高校図書館横れんが広場

販売品：かき氷(100円)、

フランクフルト(100円)、

からあげ(100円)

※当日券あります。お待ちしております！

留学生からの言葉

フランスから、宮崎出身で日本人の父とフランス人の母を持つてきな少女“セラフィン田口美和子”さんが、留学で高鍋にやって来たのは約1年前の8月でした。留学を終え、帰国する直前の田口さんに、日本、高鍋で学んだことをインタビューしてみました。

『高鍋は人が魅力的な町です。道ですれ違った時や通りかかった時には、いつも笑顔でしゃべりかけてくれました。それが嬉しかったです。故郷と比べると、高鍋は緑豊かで過ごしやすかったです。一番の思い出は文化祭で旧1年1組の皆と合唱曲「20億光年の孤独」を歌ったことです。日本語で歌うのは本当に難しかったです。また、運動会で皆で踊ったことや応援したことも大切な思い出です。一番好きな授業は「国語」でした。日本の昔の話を学ぶことができてとてもおもしろかったです。今ではほとんど日本語が話せるようになりました。皆と話せるようになったことが一番嬉しかったです。辛いこともあったけど、皆の笑顔に助けられました。一年間ありがとうございました。』



『私たちは彼女から挑戦することの勇気や、言葉を越えたコミュニケーションの力など多くのことを学ばせてもらいました。ありがとう、美和子！』